

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	エアロビック指導員対策実技 20t327/20s229		担当教員 (実務経験)	大嶋 春香 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スタジオインストラクター		
対象年次・学期	3年/2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	エアロビック指導員取得に向け、実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
到達目標	実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テストは実技試験、指導実習試験を実際に行い、 その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	基礎をしっかり覚え、身に付け指導できるようにする。まずは自身が楽しんで学ぶこと					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	実技試験対策①	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	2	実技試験対策②	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	3	実技試験対策③	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	4	実技試験対策④	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	5	実技試験対策⑤	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	6	実技模擬試験①	実技試験			
	7	実技模擬試験②	実技試験			
	8	指導実習試験対策①	エアロビック技能検定5級Dパート			
	9	指導実習試験対策②	エアロビック技能検定5級Dパート			
	10	指導実習試験対策③	指導実習			
	11	指導実習試験対策④	指導実習			
	12	指導実習試験対策⑤	指導実習			
	13	指導実習模擬試験①	指導実習試験			
	14	指導実習模擬試験②	指導実習試験			
15	指導実習模擬試験③	指導実習試験				

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	水泳指導員対策実技 20t326/20s230		担当教員 (実務経験)	今井 由美子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	3年/2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	各種泳法の基本技術を向上させ、指導員として模範となる泳ぎを習得する。効率よく泳ぐ方法を習得し、各種泳法のタイムアップを目指すし、潜行・日本泳法等の新しい技術や安全水泳の技術を習得する。水泳指導員の取得を目指す。					
到達目標	泳法を改善することで、より速い個人メドレーを泳ぐ事が出来る。					
テキスト・参考図書等	水泳指導教本・プリント					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テスト、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の留意事項	各種泳法等の技術習得は、様々な指導をする上での自信になりますし、幅広く活用できます。最終目標は個人メドレーのタイムを切る事です。体調を万全にして授業に臨んでください。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	能力確認①	個人メドレータイム計測・基本技術確認・横泳ぎ			
	2	能力確認②	タイム計測・基本技術確認・横泳ぎ			
	3	各種泳法スキルアップ①	Fr/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	4	各種泳法スキルアップ②	Ba/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	5	各種泳法スキルアップ③	Br/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	6	各種泳法スキルアップ④	Fly/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	7	各種泳法スキルアップ⑤	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	8	各種泳法スキルアップ⑥	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	9	各種泳法スキルアップ⑦	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	10	各種泳法スキルアップ⑧	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	11	各種泳法スキルアップ⑨	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	12	各種泳法スキルアップ⑩	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	13	タイム測定	個人メドレータイム測定			
	14	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
15	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み				

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ 20t226/20s231	担当教員 (実務経験)	田口 清輝 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	スキー・スノーボードにおける、基礎技術・知識の習得と向上を目指す。 スキー・スノーボード検定受験により、資格取得を目指す。				
到達目標	冬山における、怪我の予防、ゲレンデマナー及びリスクマネジメントを理解し、指導者としての資質を身に付ける。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート・提出物等の状況を総合的に評価する その他は受講姿勢等で評価する		
	レポート	10%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
	その他	80%			
履修上の 留意事項	宿泊研修という決まりの中で、自己管理、時間管理を徹底して行う事。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	事前説明会	目的、注意事項伝達		
	2	1日目午後レッスン開始	各班に分かれ道具の特性・理論等を学ぶ		
	3	1日目ミーティング	1日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	4	1日目ナイター練習	1日目に学んだことを復習する。		
	5	2日目午前レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ		
	6	2日目午後レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ		
	7	2日目ミーティング	2日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	8	2日目ナイター練習	2日目に学んだことを復習する。		
	9	3日目午前レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ		
	10	3日目午後レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ		
	11	3日目ミーティング	3日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	12	3日目ナイター練習	3日目に学んだことを復習する。		
	13	4日目午前レッスン開始	各班に分かれ、検定へ向けてレッスンをする		
	14	4日目検定	今まで学んだことを踏まえて検定に臨む		
15	4日目ミーティング	4日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ健康 学科
SC 専攻

授業科目 (科目ID)	フィジカルトレーニング 19s229		担当教員 (実務経験)	前期:宮嶋 克幸/後期:北村 和弘 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導員		
	対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義実習	授業回数(1回90分)		30	時間数	60時間
授業目的	競技特性におけるフィジカルトレーニングの知識、実技を学ぶ。					
到達目標	トレーニングを実際に体験し自分自身で実施でき、且つ指導できることを目標とする。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70%	1. 試験70% 2. 提出物10% 3. その他(受講姿勢、受講態度等)20%			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	10%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	配布資料等を用いて、理論を確認した後に実技を実施する。 授業時は筆記用具・ノートを持参、及び実技ができる服装で受講すること。最終的に選手に指導できるようになる事を目指す。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	ガイダンス①/フィジカルトレーニングの基礎知識	授業内容と説明、諸注意など/フィジカルトレーニングとは？			
	2	W-up、c-downについて	W-up、c-downの意義			
	3	自重トレーニング	スタビリティ、負荷の漸増方法、各トレーニング種目内容について			
	4	自重トレーニング	自重トレーニングの実施			
	5	自重トレーニング	器具を用いたトレーニング			
	6	SAQTトレーニング	SAQTトレーニングとは？定義、効果、種類			
	7	SAQTトレーニング	スピード・アジリティ・クイックネスの基本動作			
	8	SAQTトレーニング	動きのコントロール、方向転換など			
	9	SAQTトレーニング	ラダー・ミニハードルの利用			
	10	SAQTトレーニング	総合的SAQTトレーニングの実践(スキルの獲得とその獲得過程)			
	11	体力測定と評価	各種フィールドテストの実践と評価1(筋力・筋持久力・筋パワー1)			
	12	体力測定と評価	各種フィールドテストの実践と評価2(筋力・筋持久力・筋パワー2)			
	13	体力測定と評価	各種フィールドテストの実践と評価3(全身持久力・柔軟性・平衡性)			
	14	体力測定と評価	各種フィールドテストの実践と評価4(マイオテストによる測定と評価)			
15	まとめ	学習内容の復習、定期試験に向けて				

16	ガイダンス②	前期授業の復習、後期授業の内容と説明、諸注意など
17	プライオメトリクス	プライオメトリクス定義、効果など
18	プライオメトリクス	エクササイズの実践
19	サーキットトレーニング	サーキットトレーニングとは？
20	サーキットトレーニング	サーキットトレーニングの実践①
21	サーキットトレーニング	サーキットトレーニングの実践②
22	持久系トレーニング	持久系トレーニングの実践
23	競技別トレーニング	競技別トレーニングの実践(ファンクショナルトレーニング)
24	競技別トレーニング	競技別トレーニングの実践(ファンクショナルトレーニング)
25	競技別トレーニング	競技別トレーニングの実践(ファンクショナルトレーニング)
26	各種トレーニングの実演	実演するトレーニングの立案・計画
27	各種トレーニングの実演	トレーニング法の実践①
28	各種トレーニングの実演	トレーニング法の実践②
29	各種トレーニングの実演	トレーニング法の実践③
30	まとめ	学習内容の復習、定期試験に向けて

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナ/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	就職実務 20t333/20s233	担当教員 (実務経験)	濱田 光 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	3年/2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	1. 就職決定に向け自分自身を振り返り、客観的視野で自己分析を行う。 2. 就職活動の流れを理解し、円滑な活動へと繋げる。				
到達目標	社会人としての考え方や対応手法を学び、それらを説明・表現することができる。				
テキスト・ 参考図書等	就職サポートテキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートおよび提出課題、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	40%			
履修上の 留意事項	就職実務のテキスト及びプリント等を配布し授業を行う。、ここ数年の新卒就職戦線は売り手市場の傾向にありますが、その反面、雇用形態などの多様化も進み、仕事選びも難しくなっています。まずは自分自身を知り、社会傾向を知って悔いのない就職活動をする為に、客観的に自己評価を行うよう取り組んでください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス	就活スケジュール・就活マナー・心構えなど、就活に向けた基本的な流れを学ぶ		
	2	就活対策(1)	エントリーシート(求職票)の書き方		
	3	就活対策(2)	履歴書の書き方①(練習用紙への記入)		
	4	就活対策(3)	履歴書の書き方②(本用紙への下書き)、線引き→下書き→チェック→本書き 完成品1枚回収		
	5	自己を知る	学生と社会人の違いを把握 自己分析・自己PRの作		
	6	就活対策(1)	求人票のチェック方法および志望動機の作成		
	7	就活対策(2)	PC室にてリクナビ、マイナビの説明、登録作業		
	8	就活対策(3)	企業へのアポイントの取り方、各提出書類の準備方法		
	9	選考試験対策(1)	選考試験の種類と対策		
	10	選考試験対策(2)	面接試験対策(基本動作・身だしなみ・事前準備)		
	11	選考試験対策(3)	面接試験対策(成功例と失敗例、質問内容)		
	12	選考試験対策(4)	面接試験対策(グループディスカッション、集団面接)		
	13	就職に向けて(1)	受験報告書の作成、提出		
	14	就職に向けて(2)	内定状の作成		
15	就職に向けて(3)	就職への心構え			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	情報基礎 20t332/20s234		担当教員 (実務経験)	石井 克 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 新聞記者(フリーライター)	
対象年次・学期	3年/2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	ビジネスの場面に必要な、PC操作と情報の扱い方を学習する。				
到達目標	資料作成およびデータの整理と活用に合わせて、Word・Excelの基本操作方法を理解し、場面に応じて使用できる。				
テキスト・ 参考図書等	【テキスト】 実教出版企画開発部編(2016)『30時間でマスター Windows10対応 Word & Excel 2016』, 実教出版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	0%			
	小テスト	0%			
	提出物	30%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	学生の理解度に応じて、授業の進捗速度と度合いを変更する場合がある。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーションと導入	講義の進め方・試験方法・評価等の説明とガイダンス		
	2	Windows10の基礎	Windowsの基本操作		
	3	Wordの基本操作①	文字入力・印刷・保存		
	4	Wordの基本操作②	基本操作とタイピング練習①(400字)		
	5	Wordの基本操作③	基本操作とタイピング練習②(600字)		
	6	Wordの基本操作④	基本操作とタイピング練習③(800字)		
	7	Wordの活用①	表・グラフの作成		
	8	Wordの活用②	ビジネス文章の作成①(編集機能Ⅰ)		
	9	Wordの活用③	ビジネス文章の作成②(編集機能Ⅱ)		
	10	Wordの活用④	ビジネス文章の作成③(ビジュアル)		
	11	Excelの基本操作①	データ入力の基礎		
	12	Excelの基本操作②	ワークシート編集の基礎		
	13	Excelの基本操作③	ワークシートの書式設定		
	14	Excelの基本操作④	グラフ・表の作成		
15	前期のまとめ	Word・Excelの使用に関する前期のまとめ			

16	Excelの実践①	関数の適用①(オートSUMボタンの利用)
17	Excelの実践②	関数の適用②(順位付け、四捨五入、判定)
18	Excelの実践③	関数の適用③(条件による集計、表の検索)
19	Excelの実践④	データベース機能
20	Excelの実践⑤	データの集計
21	Excelの活用①	実習問題①
22	Excelの活用②	実習問題②
23	Excelの活用③	実習問題③
24	Word・Excelの応用①	PowerPointとの関連性
25	Word・Excelの応用②	インターネットの活用と情報倫理
26	Word・Excelの応用③	インターネットを利用した情報の活用
27	Word・Excelの応用④	スクリーンショット・PDFファイルの作成
28	Word・Excelの応用⑤	Word・Excelを使用したデータの整理と活用①
29	Word・Excelの応用⑥	Word・Excelを使用したデータの整理と活用②
30	後期のまとめ	Word・Excelに関する後期のまとめ

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	カレッジイベントⅡ 20t233/20s237	担当教員 (実務経験)	未定 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	カレッジイベント内容①	イベントの内容説明		
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	4	イベント実施	スポーツ大会		
	5	振り返り	レポート作成、提出		
	6	カレッジイベント内容②	イベントの内容説明		
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル		
	10	振り返り	レポート作成、提出		
	11	カレッジイベント内容③	イベントの内容説明		
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定		
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者 当日準備		
	14	イベント実施	学園祭		
15	振り返り	レポート作成、提出			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	コミュニケーションⅡ 20t232/20s236		担当教員 (実務経験)	未定 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	1年次からの応用として、コミュニケーションを通じて、課題克服への積極的挑戦から自信に繋げる。					
到達目標	自主的に話題性をもって、人に関わり、立ち位置を確立できるようになる。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて、資料を配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)			
	レポート	20%				
	小テスト	%				
	提出物	20%				
	その他	60%				
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	就職活動に向けて①	履歴書の記入方法			
	2	就職活動に向けて②	自己分析 自分の強み、弱さ、今後どのように成長していくか、どのような職業人でありたいか			
	3	就職活動に向けて③	業界研究 進みたい分野における調査			
	4	就職活動に向けて④	就職情報サイトの利用方法			
	5	面接試験に向けて①	心構え、様々な面接試験について			
	6	面接試験に向けて②	入退室、面接試験体験①			
	7	面接試験に向けて③	入退室、面接試験体験②			
	8	一般常識①	漢字(読み・書き)			
	9	一般常識②	丁寧語、敬語			
	10	一般常識③	挨拶、接遇			
	11	一般常識④	マナー、一般常識(応用)			
	12	一般常識⑤	ペア対話、グループ対話			
	13	まとめ①	確認テスト(読み・書き・丁寧語・敬語)			
	14	まとめ②	確認テスト(挨拶・接遇)			
15	まとめ③	確認テスト(マナー・一般常識応用)				

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー／スポーツ健康 学科
PHⅡ／TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	ジュニアスポーツ指導実習 20t230/20s238	担当教員 (実務経験)	古本 真希 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	選択(PHⅡ)／必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	幼児へのスイミングレッスンを計画→実施→反省を行うことで、指導技術を習得する。また、実際に幼児に携わることでスイミング技術だけではなく、幼児へのスポーツ指導も学ぶ。				
到達目標	グループワークを通して、インストラクターの役割への理解。実習を通して、レッスンの計画方法の立案、子ども達への対応ができる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート・提出物の内容や期日がしっかり守られ、提出されたら評価する。 その他は指導案作成中や指導中の姿勢で評価する。		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
その他	60%				
履修上の留意事項	指導計画案の作成や反省会は教室で実施し、グループワークを中心に進めます。プールでの個別指導実習が中心です。実習後には反省一日誌の記入→提出となります。初回は教室でオリエンテーションを行います。水に慣れていない幼児も多いので、計画の段階から責任感を強く持って授業に臨んでください。実習が始まれば、毎回が本番となります。常に緊張感を忘れず、実習を行ってください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション／指導計画の作成	オリエンテーション／指導計画・指導案作成		
	2	指導計画の作成	指導実習計画・指導案作成		
	3	指導計画案の予行演習	指導技術(補助・道具の利用方法)の練習		
	4	指導計画案の予行演習	指導技術(補助・道具の利用方法)の練習		
	5	指導計画案の作成・見直し	指導実習計画・指導案見直し		
	6	指導計画案の予行演習	指導実習の練習・指導案見直し		
	7	指導計画案の予行演習	指導実習の練習・指導案見直し		
	8	指導実習	幼稚園A①-1		
	9	指導実習	保育園実習予定		
	10	指導実習	幼稚園A①-2		
	11	指導実習	保育園指導実習予定		
	12	指導実習	幼稚園A①-3		
	13	指導実習	保育園指導実習予定		
	14	指導実習	幼稚園A②-1		
	15	指導実習	保育園指導実習予定		
	16	指導実習	幼稚園A②-2		
	17	指導実習	保育園指導実習予定		
	18	指導実習	幼稚園A②-3		
	19	指導実習	保育園指導実習予定		
	20	指導実習	幼稚園A③-1		
	21	指導実習	幼稚園B①		
	22	指導実習	幼稚園A③-2		
	23	指導実習	幼稚園B②		
	24	指導実習	幼稚園A③-3		
	25	指導実習	幼稚園B③		
	26	指導実習振り返り	幼稚園AB実習反省まとめ		
	27	指導実習振り返り	幼稚園AB実習反省まとめ		
	28	実習	保育園指導実習予定		
	29	実習	保育園指導実習予定		
30	指導実習振り返り	全体まとめ			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー／スポーツ健康 学科
PHⅢ 専攻 / TRⅡ・INⅡ・GOⅡコース

授業科目 (科目ID)	インターンシップⅡ 20t338/20s239	担当教員 (実務経験)	田口 清輝 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者			
対象年次・学期	3/2年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	2単位	
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間	
授業目的	フィットネス愛好者や子どもに対する運動指導を、実践から学ぶことを目的とする。					
到達目標	子ども～高齢者までの様々な年代に対して、運動の楽しさを伝えることが出来る。					
テキスト・参考図書等	なし					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験		%レポート内容、提出物および受講姿勢を総合的に評価する。			
	レポート	20%				
	小テスト					
	提出物	20%				
	その他	60%				
履修上の留意事項	特になし					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション(田口)	年間スケジュール、実習内容の説明			
	2	指導実習の事前学習(Jrスイミング)(古本)	Jrスイミングの指導方法、留意点、基礎知識を学ぶ。			
	3	指導実習の事前学習(Jr体育)(田口)	Jr体育指導方法、留意点、基礎知識を学ぶ。			
	4	実習(スイミング・体育)(古本、田口、高橋)	Jrスイミング指導。実際のスクールにサブコーチとして入水する。			
	5		Jrスイミング指導。実際のスクールにサブコーチとして入水する。			
	6		Jrスイミング指導。実際のスクールにサブコーチとして入水する。			
	7		Jrスイミング指導。実際のスクールにサブコーチとして入水する。			
	8		Jr体育スクール指導。実際のスクールに補助員として参加する。			
	9		Jr体育スクール指導。実際のスクールに補助員として参加する。			
	10		Jr体育スクール指導。実際のスクールに補助員として参加する。			
	11		Jr体育スクール指導。実際のスクールに補助員として参加する。			
	12		実習報告書の作成(スイミング・体育・イベント)(田口)	各スクールを振り返っての実施内容、反省、まとめを作成。		
	13		Bスタジオリュウスの受講(古本、田口)	45分間のスタジオリュウスに参加。		
	14			45分間のスタジオリュウスに参加。		
	15	45分間のスタジオリュウスに参加。				
	16	Bスタジオリュウスの受講(古本、田口)	45分間のスタジオリュウスに参加。			
	17	スタジオリュウスの計画①(田口、千保)	班編成を組み、プログラムの目的を決める。			
	18	スタジオリュウスの計画②(田口、千保)	プログラム内容の作成。			
	19	スタジオリュウスの計画③(田口、千保)	プログラム内容の作成。			
	20	スタジオリュウスの計画④(田口、千保)	プログラム内容、掲示ポスターの作成。			
	21	スタジオリュウスの計画⑤(田口、千保)	リハーサル実施。			
	22	スタジオリュウスの計画⑥(田口、千保)	リハーサル実施。			
	23	スタジオリュウスの実演(古本、田口、千保)	一般の方を対象に実施。			
	24		一般の方を対象に実施。			
	25		一般の方を対象に実施。			
	26	スタジオリュウス実習報告書作成(田口)	実施内容、反省、まとめを作成。			
	27	講義実習①(田口)	スポーツクラブ運営について。(顧客管理、			
	28	講義実習②(高橋)	水泳指導の実践について。(4泳法について、施設管理について)			
	29	講義実習③(土岐)	トレーニングについて。(BIG3、指導方法)			
30	まとめ(田口)	全行程を振り返り、反省、まとめを作成。				